

教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

研究・研修
072-943-5784

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

初任者研修 ～野外活動研修～

日 時：平成30年8月17日（金）、8月20日（月）

場 所：八尾市教育センター

八尾市立大畑山青少年野外活動センター（アクトランドYAO）
教育センター等市内各所

八尾市立小・中学校初任者教員を対象に、八尾市立大畑山青少年野外活動センター（アクトランド YAO）や教育センター等市内各所にて2日間の研修を実施しました。

この研修のねらいは、自然体験学習に関する技法や効果について理解を深めること、また八尾の文化や自然について体験を通じて学び、八尾の将来を支える子どもたちを育てる教員の資質向上を図ることです。

8月17日（金）は、八尾市立大畑山青少年野外活動センターにて「キャンプファイヤー理論と実践」「飯ごう炊さん」「山の自然を使った教材づくり」「キャンプファイヤーゲーム披露会」の4つの研修を行い、各学校で実施する校外学習での実践力を高めました。

各研修では、アクトランドYAOの副所長である宮嶋様より、講義、演習をしていただきました。「キャンプファイヤー理論と実践」では講義のあと、キャンドルファイヤーの実演を体験しました。「飯ごう炊さん」では、自分たちで薪に火をつけ、カレーライスを作りました。これらの研修では自然体験学習の技法を学びました。「山の自然を使った教材づくり」「キャンプファイヤーゲーム披露会」の2つは、校外学習での木工体験や、キャンプファイヤーのように、児童生徒へ指導する場面が想定されるものを初任者自身が取り組むことで、教員としての視点だけでなく、児童生徒の視点を体験し、指導する際の留意点等を学びました。

8月20日（月）は、高安地域に点在する文化財について学ぶオリエンテーリングを午前中に、午後は租税教育についての説明、初任者同士の実践交流、河内音頭の実技講習という内容でした。

オリエンテーリングでは、八尾市立歴史民俗資料館、愛宕塚古墳と、八尾市立しおんじやま古墳学習館を順にめぐり、八尾市の文化財について学びました。校外学習で児童生徒を引率すること



を想定し、校外での移動時の注意点等について事後交流を行うことで学びを深め合いました。

租税教育については、八尾税務署の方を講師として、学校における「租税教室」の概要について説明を受けました。初任者は、児童生徒に税のしくみや納税の必要性を指導することの大切さを認識するとともに、社会の一員として納税する意義を再確認していたようでした。

実践交流会では、1学期の取り組みをそれぞれ発表し、グループ交流をとおして、成功体験や課題を共有し、グループでの交流内容を全体で共有しました。初任者からは「2学期の取り組みのヒントを得た。」という感想がありました。

河内音頭実技講習は高安小学校・高安中学校のサブアリーナで「正調河内音頭」の実技指導をしていただきました。初任者は、汗をかきながら、輪になって踊り、河内音頭の楽しさを実感したようでした。



2日に渡る研修を通して、「八尾市のことがわかった。」「もっと知りたい。」といった感想が多数あり、八尾市の教員を八尾市で育てる大きな一歩となりました。

小学校「外国語活動」授業づくり研修②

日 時：平成30年8月8日（水）10:00～12:00

講 師：大阪樟蔭女子大学 教授 菅 正隆さん

夏季休業中に行われた小学校「外国語活動」授業づくり研修では、大阪樟蔭女子大学 教授 菅 正隆先生に、「評価に基づく英語の実践演習」という内容で、ご講義いただきました。

外国語活動における「聞く・読む・話す・書く」それぞれの場面での評価ポイントについて、演習を通して具体的に学ぶことができました。

受講者からは、「子どもたちにも今日のようにどんどんできることを増やして、英語は楽しいと思える授業づくりをしていこうと思いました。」「発見や気づきの多い実践演習でした。子どもの立場に立って取り組むことでわかる喜びやできた喜びを味わいながら評価のポイントを学ぶことができました。」といった感想がありました。

「音楽」授業づくり研修

日 時：平成30年8月10日（金）10:00～12:00

講 師：大阪教育大学 教授 寺尾 正さん

「音楽」授業づくり研修では、大阪教育大学 教授の寺尾 正先生に、合唱の指導方法についてご講義いただきました。わらべ歌をモチーフに声を合わせたりリズムをとったりして、輪唱の楽しさやハーモニーの美しさを実感していました。そして、子どもたちが身に着けるべき合唱の基本的なスキルや指導のポイントについて学びを深めていました。

受講者からは、「わらべうたを実際に自分で歌うことで、その価値がよくわかりました。」「歌い方の正しい方法を体感できて感動しました。ハミングやわらべ歌など、すぐにやってみたいと思いました。」といった感想がありました。

